【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2010-233232(P2010-233232A)
【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)
【年通号数】公開・登録公報2010-041
【出願番号】特願2010-107975(P2010-107975)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　1/02　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　5/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　11/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　1/02　Ｃ
Ｈ０５Ｋ　5/02　Ｖ
Ｆ１６Ｃ　11/04　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月10日(2010.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
第１筐体と、第２筐体と、上記第１筐体と上記第２筐体とを回動可能に連結するヒンジ装置とを備えた携帯機器において、
上記第２筐体が上記ヒンジ装置により、上記第１筐体に位置固定して配置された第１回動軸線を中心として上記第１筐体に対して公転可能に、かつ上記第２筐体に位置固定して配置された上記第１回動軸線と平行な第２回動軸線を中心として自転可能に連結され、
上記第１、第２筐体の少なくとも一部どうしが上記第１、第２回動軸線方向において互いに重なることができるよう、少なくとも当該一部どうしが上記第１、第２回動軸線方向においてほぼ接するか、互いに離間するように配置され、
上記第２筐体は、その全体が上記第１筐体に重なった重ね位置と、この重ね位置に位置しているときの姿勢に対して点対称な姿勢になる展開位置との間を上記第１筐体に対して回動可能であり、上記第２筐体が上記展開位置に位置しているときには、上記第２筐体が上記第１筐体に対し上記第１、第２回動軸線と直交する方向においてほぼ接するか、上記第２筐体の一部が上記第１筐体に対し上記第１、第２回動軸線方向において重なることを特徴とする携帯機器。